

平成22年度事業計画(案)

1 ネットワーク形成事業

(1) 理事会・通常総会(補助対象外)(継続)

九州地域バイオクラスター推進協議会の平成21年度事業・決算報告、平成22年度事業計画・予算(案)等について審議を行うため理事会・通常総会を開催。また、講演(連携促進事業:九州地域バイオベンチャーフォーラム)交流会を開催。

日程:平成22年5月20日(木)13:00~19:00

13:00-13:50 理事会(2階 プレジールB)

14:20-15:10 通常総会(2階 プレジールA)

15:30-17:20 講演(2階 プレジールA)

九州地域バイオベンチャーフォーラム

17:30-19:00 交流会(2階 プレジールB)

場所:西鉄グランドホテル

(福岡市中央区大名2-6-60)

(2) クラスターマネージャー配置事業(継続)

九州地域バイオクラスター計画の深化と連携拡大を図るため、クラスター活動を総括する統括クラスターマネージャー(CM)及びサブ・クラスターマネージャー(SCM)を配置し、地域に密着した研究・商品開発、事業化支援活動等を実施。

CM 九州大学特任教授 深見 克哉

SCM (独)中小企業基盤整備機構 九州支部 九州地域支援事務局

プロジェクトマネージャー 藤崎 弘之

SCM (株)ベジセレクト 代表取締役 池田 透 CEO

平成22年度からは、更に、科学技術系のコーディネーターを1名増員。

(3) 企画運営委員会(ネットワーク強化委員会)事業(継続)

ネットワークの強化・拡大を図るため、協議会の活動・運営の方向性、関連事業等の実施方針、部会活動等の検討を実施。

<第1回企画運営委員会>

日程:平成21年5月11日(火)13:30~15:30

場所:九州経済産業局(福岡市) 6階 会議室

主な議題：平成 2 1 年度事業報告・収支決算報告
平成 2 2 年度事業計画・収支予算案
ロゴ使用規程・商品開発支援事実表示に関する規定
海外クラスターとの協力体制構築について
その他協議会の運営に係る諸課題

< 第 2 回企画運営委員会 > (予定)

日程：平成 2 2 年 1 ~ 2 月頃開催予定

主な議題：平成 2 2 年度事業進捗状況報告
平成 2 3 年度事業計画素案審議
その他協議会の運営に係る諸課題

(4) 地域間ネットワーク強化・構築事業(補助対象外)

九州各県・政令市、団体等のバイオ関連産業担当者が保有する情報を共有化し、担当者間連携を促進するため、九州地域バイオ関連産業担当者連絡会議を開催。

日程(予定)：平成 2 2 年 7 月 ~ 8 月頃開催予定

(5) ワーキンググループ(部会)設置事業(継続)

企画運営委員会のもとに、「九州地域バイオクラスター計画」推進に向けたより具体的な事業の検討等を行うためワーキンググループを設置・運営する。平成 2 2 年度は、「マーケティング部会」において、主に協議会が実施する販路開拓支援事業に関し企画・進捗管理・評価、機能性・健康食品の販路開拓に係る研究等を行うとともに、翌年度に向け協議会として実施すべき販路開拓支援事業の方向性につき審議し企画運営委員会に対して提言を行う(年 3 回程度開催予定)。

2 新事業創出支援事業

(1) 事業化案件発掘支援事業(補助対象外)(継続)

クラスター協議会の重要な目標のひとつである事業化の推進のため、協議会会員企業に対して支援を希望する潜在的な事業化案件に関する公募を実施。CM、SCMによる重点支援案件を認定し、研究開発、機能性等評価、販路開拓等幅広い分野においてCM、SCMによる集中的なサポートを実施するとともに、一部試作品開発助成等を実施予定。
(公募予定：平成 2 1 年 7 月頃)

(2) I M と弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業 (継続)

インキュベーションマネージャー、科学技術コーディネーター等の各地域における産業支援人材と弁理士・弁護士等高度な知識を有する人材の交流・ネットワーク化を図るため、交流、意見・情報交換を実施。各地域における産業支援人材の資質向上や高度人材とのネットワーク化を通じて、それぞれの地域における産業支援上の問題解決能力向上を図る。平成 22 年度は、国の予算措置状況を睨みつつ開催を検討。

(3) フードバイオビジネススクール (継続)

崇城大学が経済産業省より認定を受けた「産学連携人材育成事業」との共催のうえ実施。平成 20 年度に策定したカリキュラム・スケジュールに基づき平成 21 年度夏から本格的なスクールを開催した。平成 22 年度においても、崇城大学との緊密な連携のもとにフードビジネスを総合的に学習し、戦略的な事業展開ができる人材育成を目指す。

(4) バイオトレーニング (継続)

バイオ関連分野共通の中心技術となる生物由来物質の検索、検出技術の基本原理の学習と基本操作実習を実施。北九州工業高等専門学校と共催で 8 月頃に実施予定。

(5) 新成長分野調査事業 (新規)

「フード・健康アイランド九州」構築・推進に向け、予防医学や温泉等の観光施設と連携したメディカルツーリズム、治験、医薬品、医療機器、検査キット等からなる「健康長寿関連産業」が機能性食品・健康食品産業と有機的に連携していくための産業ポテンシャルを把握し、新事業・新産業創出のあり方についての方向性を検討するため調査事業を実施する。

3 連携促進事業

(1) 研究機関等現地研修会 (補助対象外) (継続)

機能性食品・健康食品に関連する研究機関や工場等を実際に訪問し先進的な事例について視察・研修を行い、会員の知識向上を通じて今後の業務に役立てる。10 ~ 11 月頃開催予定。

平成 20 年度は熊本地域において、同仁化学研究所、東洋新薬熊本工場、(独) 農業・食品産業技術総合研究所 (九州沖縄農業研究センター) の視察を実施。平成 21 年度は鹿児島地域において、鹿児島大学産学官連携推進機構、坂本醸造等の視察を実施。

(2) 九州地域バイオベンチャーフォーラム (継続)

関係者一体となった広域的な産学官連携の促進強化を図るためのシンポジウムを実施。
九州地域バイオクラスター推進協議会通常総会時に開催。

九州地域バイオベンチャーフォーラム 2010 (通常総会時)

基調講演 (15 : 30 ~ 16 : 40)

サントリーホールディングス(株) 顧問 田中 隆治 氏

「機能性食品開発 30年 ~ 何を考え何をしてきたのか ~ 」

協議会会員企業事例発表 (16 : 40 ~ 17 : 20)

- (1) グリーンサイエンスマテリアル(株) (平成21年度事業化案件発掘・支援事業報告)
- (2) (株) バイオジェノミクス (平成21年度事業化案件発掘支援事業報告)
- (3) (株) マミードルチェ (平成21年度事業化案件発掘支援事業報告)
- (4) (有) 石橋屋 (平成21年度事業化案件発掘支援事業報告)

(3) バイオイブニングカフェの開催 (補助対象外) (継続)

企業や研究者等が、一定のテーマのもとに小規模に参集し、リラックスした雰囲気の中で、話題提供や意見交換・交流を行う産学研究交流会「バイオイブニングカフェ」を実施する。

平成22年度からは、従来の熊本での開催に加え、鹿児島地域においては(社)鹿児島県工業倶楽部と、また、K I I C (九州イノベーション創出促進協議会)と、それぞれ連携のうえ、九州各地における開催を図る。

4 販路開拓支援事業

(1) 地場中核事業や大手企業とのアライアンスマッチング事業(継続)

主に首都圏や関西圏からバイヤーを招致し、会員企業等との間で商談会を開催。平成22年度は、より機能性食品・健康食品に特化した内容で実施しを目指す。(12~2月頃開催予定)

(2) 展示会出展事業 (継続)

会員企業の販路拡大、協議会活動のPRのため主に首都圏で開催される食品関連展示会に出展。機能性食品・健康食品関連に特化し最新製品・技術情報発信を目的とした「食品開発展2010」「アグリビジネス創出フェア」等へ出展予定(10~11月頃開催予定)。

(3) 販路開拓支援セミナー (継続)

食品表示制度、通販、機能性・健康食品関連の成功事例等、会員企業が機能性・健康食品販売上抱える諸課題の解決に資するため、各分野の専門家を招致しセミナーを開催。(12 ~ 2 月頃開催予定)

5 情報提供事業

(1) 情報発信・提供事業 (継続)

協議会の活動状況、バイオ関連イベント、公募情報、ベンチャーマーケットの開催情報等につき、メールマガジン、ホームページ、会報等を通じ会員対し情報提供を実施。また、バイオ関連企業、大学技術情報、大学特許情報等データベースの運用を行う。

メールマガジン、HP による情報提供 (通年実施)

平成 21 年度実績 : 228 件 (3 月 31 日時点)

(HP 新着情報 : 228 件、活動報告 45 件、 Grant 情報 31 件、VM 情報 14 件)

会報発行 (年 2 ~ 3 回程度の発行を予定)

データベース : 通年運用、随時アップデート、充実。

(機能性評価支援 DB、企業情報 DB、大学特許情報 DB、大学技術シーズ情報 DB 等)

平成22年度 九州地域バイオクラスター推進協議会(会費事業) 収支予算(案)

【収入の部】	予算額	H21予算額	増減	参考 (H21決算額)	備考
会費	6,000,000	6,000,000	0	6,197,238	前年度程度を想定
雑収入	957,000	475,000	482,000	420,193	・総会時交流会費:240,000 ・バイオトレーニング参加者負担金:175,000 ・展示会出展参加企業負担金:540,000 ・受取利息(上期、下期)2,000 ・展示会出展関係による増
繰越金	6,191,551	4,022,543	2,169,008	4,022,543	H21年度決算実績額より
合計	13,148,551	10,497,543	2,651,008	10,639,974	

【支出の部】	予算額	H21予算額	増減	参考 (H21決算額)	備考
理事会・総会開催事業	760,000	1,049,600	-289,600	572,618	・理事会・総会会場代及び交流会費:600,000 ・議事資料印刷費等:100,000 ・その他事務経費:60,000 H21決算を参考に減額調整
クラスターマネージャー配置事業	830,000	0	830,000	0	・CM4月分活動費・人件費(3人):330,000 ・仏方スタ-MOU調印式諸経費:500,000 CM4月分活動費、仏方スタ-MOU調印に伴う増
ネットワーク強化委員会(企画運営委員会)事業	280,000	86,000	194,000	21,252	・企画運営委員会諸経費(会議費、旅費、印刷等)一式:280,000 企画運営委員会が補助対象外となったことに伴う諸経費計上による増
地域間ネットワーク強化・構築事業	52,000	52,000	0	48,207	H21決算程度を勘案し昨年度並予算を設定
ワーキンググループ(部会)設置事業	20,000	20,000	0	16,170	H21決算程度を勘案し昨年度並予算を設定
事業化案件発掘事業	2,100,000	1,115,000	985,000	1,050,000	・試作品開発助成(助成金)500,000×3件(団体会員) 300,000×2件(個人会員) 試作品開発助成単価・件数拡充による増
IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業	10,000	20,000	-10,000	2,844	・会議費10,000 H21決算を参考に若干減額調整
フードバイオビジネススクール(経営者教育)事業	30,000	0	30,000	0	・事務経費:30,000 当該事業に係る事務経費が補助対象外となったことに伴う、事務経費(職員旅費等)の増
バイオトレーニング	350,000	350,000	0	250,000	・実習材料費 H21予算並計上
新成長分野調査事業	5,000	0	5,000	0	・委託事業調整に係る諸事務費相当(切手、印刷、通信運搬費等)
研究機関現地研修会	205,000	268,200	-63,200	129,172	・バス賃料:150,000 ・会議費:5,000 その他(事務、調整経費、旅費等):50,000 H21決算を参考に若干減額調整
九州地域バイオベンチャーフォーラム	5,000	100,000	-95,000	0	お茶代、資料印刷、通信運搬費等諸経費
バイオオープニングカフェ	320,000	315,600	4,400	7,898	・講師謝金:80,000 ・講師旅費:80,000 ・会場経費:120,000 ・その他諸経費:40,000 開催地域拡大(熊本+鹿児島、KICC)に伴い所要経費計上
アライアスマッチング事業	215,000	215,000	0	0	・セルフサービス協会入会金・年会費:180,000 ・その他(消耗品、会議費):35,000 セル協加入関係所費用を計上
展示会出展事業	700,000	0	700,000	0	・小間代一部負担:540,000 ・装飾代一部負担:160,000 小間代一部負担等が補助対象外となることによる増
販路開拓支援セミナー	60,000	4,000	56,000	58,905	・講師と参加者の交流会経費 一式 60,000 H21実績を勘案し増
情報提供発信事業	2,500,000	2,104,200	395,800	1,982,400	・会報作成委託料:2,000,000 ・パンフ増刷費:100,000 ・ロゴ商標登録費用:400,000 パンフ増刷、ロゴ商標登録費用計上による増
参考: H21度終了・整理統合事業	0	150,000	-150,000	70,000	・機能性評価等支援事業(H21):予算=0,決算=0 ・A2C(H21):予算=150,000,決算=70,000 事業終了・統合整理による減
事務局管理費	440,000	200,000	240,000	138,957	・電話・切手・振込手数料その他事務所費 200,000 ・補助職員人件費(4月分):140,000 ・全国(ハ-シ)推進機関 会費:100,000 (予備費より再整理) 補助職員人件費(4月分)計上、全国推進協年会費計上による増
予備費	100,000	100,000	0	100,000	
繰越金	4,166,551	4,347,943	-181,392	6,191,551	
合計	13,148,551	10,497,543	2,651,008	10,639,974	

平成22年度 九州地域バイオクラスター推進協議会(会費事業) 収支予算(案)

再掲(前年度決算比較ベース整理)

【収入の部】	H22予算額	H21決算額	増減	備考
会費	6,000,000	6,197,238	-197,238	前年度程度を想定 直近の会員数増加トレンド勘案 (決算額中過年度分:162,738) (H21年度分会費:6,034,500)
雑収入	957,000	420,193	536,807	・総会時交流会費:240,000 ・バイオトレーニング参加者負担金:175,000 ・展示会出展参加企業負担金:540,000 ・受取利息(上期、下期)2,000 ・展示会出展関係による増
繰越金	6,191,551	4,022,543	2,169,008	H21年度決算実績額より
合計	13,148,551	10,639,974	2,508,577	

【支出の部】	予算額	H21決算額	増減	備考
理事会・総会開催事業	760,000	572,618	187,382	・理事会・総会会場代及び交流会費:600,000 ・議事資料印刷費等:100,000 ・その他事務経費:60,000 H21決算実績に、会場代、印刷製本費増等を見込み、
クラスターマネージャー配置事業	830,000	0	830,000	・CM4月分活動費・人件費(3人):330,000 ・仏フラスター-MOU調印式諸経費:500,000 CM4月分活動費、仏フラスター-MOU調印に伴う増
ネットワーク強化委員会(企画運営委員会)事業	280,000	21,252	258,748	・企画運営委員会諸経費(会議費、旅費、印刷等)一式:280,000 企画運営委員会が補助対象外となったことに伴う諸経費計上による増
地域間ネットワーク強化・構築事業	52,000	48,207	3,793	H21決算程度を勘案し昨年度並予算を設定
ワーキンググループ(部会)設置事業	20,000	16,170	3,830	H21決算程度を勘案し昨年度並予算を設定
事業化案件発掘事業	2,100,000	1,050,000	1,050,000	・試作品開発助成(助成金)500,000×3件(団体会員) 300,000×2件(個人会員) 試作品開発助成単価・件数拡充による増
IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業	10,000	2,844	7,156	・会議費10,000 H21決算を勘案し設定。
フードバイオビジネススクール(経営者教育)事業	30,000	0	30,000	・事務経費:30,000 当該事業に係る事務所経費が補助対象外となったことに伴う、事務所経費(職員旅費等)の増
バイオトレーニング	350,000	250,000	100,000	・実習材料費 定員一杯の7名参加を想定しH21予算並計上 (@50,000×7名、H21参加者5名)
新成長分野調査事業	5,000	0	5,000	委託事業調整に係る諸事務費相当(切手、印刷、通信運搬費等)
研究機関現地研修会	205,000	129,172	75,828	・バス賃料:150,000 会議費:5,000 その他(事務、調整経費、旅費等):50,000 H21決算を参考に、参加者増を見込み大型のバス借上関係費用計上による増を見込み、
九州地域バイオベンチャーフォーラム	5,000	0	5,000	お茶代、資料印刷、通信運搬費等諸経費
バイオオープニングカフェ	320,000	7,898	312,102	・講師謝金:80,000 ・講師旅費:80,000 ・会場経費:120,000 ・その他諸経費:40,000 開催地域拡大(熊本+鹿児島、KICC)に伴い所要経費計上
アライアンスマッチング事業	215,000	0	215,000	・セルフサービス協会入会金・年会費:180,000 ・その他(消耗品、会議費):35,000 セルフ協加入関係所費用を計上
展示会出展事業	700,000	0	700,000	・小間代一部負担:540,000 ・装飾代一部負担:160,000 小間代一部負担等が補助対象外となることによる増
販路開拓支援セミナー	60,000	58,905	1,095	・講師と参加者の交流会経費一式60,000 H21実績を勘案し計上
情報提供発信事業	2,500,000	1,982,400	517,600	・会報作成委託料:2,000,000 ・パンフ増刷費:100,000 ・ロゴ商標登録費用:400,000 パンフ増刷、ロゴ商標登録費用計上による増
参考: H21度終了・整理統合事業	0	70,000	-70,000	・機能性評価等支援事業(H21):予算=0,決算=0 ・A2C(H21):予算=150,000,決算=70,000 事業終了・統合整理による減
事務局管理費	440,000	138,957	301,043	・電話・切手・振込手数料その他事務所費200,000 ・補助職員人件費(4月分):140,000 ・全国イノベーション推進機関会費:100,000 (予備費より再整理) 補助職員人件費(4月分)計上、全国推進協年会費計上による増
予備費	100,000	100,000	0	
繰越金	4,166,551	6,191,551	-2,025,000	
合計	13,148,551	10,639,974	2,508,577	